

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立昭和北中学校)

- ① 教科等 外国語科 ② 学年 第2学年
- ③ 単元名 Multi +3 わたしの町
- ④ 本時の目標 自分の住んでいる町について、文と文のつながりに注意して内容的にまとまりのある紹介文を書くことができる。
- ⑤ 学習の流れ (1時間目/全1時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 ウォームアップ ○ Q&Aタイム	・英語を学習する雰囲気をつくる。	
2 本時の目標の確認		
「わたしの町」について、つなぎ言葉を使って内容にまとまりのある紹介文を書くことができる。		
3 教科書のモデル文を読んで町の特色をとらえる。	・接続詞や代名詞などを使って、内容にまとまりのある一貫性の高い紹介文とは何かを考えさせる。	・文と文のつながりなどに注意して紹介文を書くことができる。〔外国語表現の能力〕(ワークシートへの記述)
4 音読練習をする。	・モデル文の内容を理解した後、音読させる。	
5 「わたしの町」について紹介文を書く。 ○ マッピングをする。 ○ 文章構成を考える。 ○ 紹介文を書く。 ○ グループで読み合い、校正する。 ○ 書き直す。 ○ 数名が全体で発表する。	・地理的な位置や町の特色など、紹介したいことをマッピングさせる。 ・情報を取捨選択させ、文章構成を考えさせる。 ・各自で書いた紹介文「わたしの町」を4人グループで読みあい、チェックシートを基に校正させる。 ・よりよいものになるよう書き直させる。	
6 本時の活動を振り返る。	・自己評価表へ記入させる。	
7 宿題を確認し、次時の学習を知る。		

「言語活動の充実」

設定した言語活動を通して育てたい力

- 全体としてまとまりのある一貫性の高い文章とは何かを考え、自分の住んでいる町について、内容的にまとまりのある紹介文を書くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- モデル文を提示し、内容的にまとまりのある一貫性の高い紹介文とは何かを考えさせる。
- マッピングをさせ情報を取捨選択させた後、文章構成を考えさせるなど、段階を追って書かせる。
- 書いたものをグループで校正させることで、自分の書いた文章を客観的に読ませる。